



うるわ

美しき魂

学校通信 日置市立伊集院中学校

令和3年3月25日第12号

“正しく、直く、潔き真の心”

校訓「美しき魂」よ！永遠(とわ)に ～ この出会いに感謝，ここにある命に「ありがとう」～

校長 中村 克己

3月16日(火)本校体育館において、小園副市長様、奥教育長様のご臨席のもと、伊集院中学校第74回卒業式が盛大に挙行されました。

これまでの卒業式とは縮小された形ではありましたが、「心を込め」、「思いを込め」、思い出に残る卒業式となるよう全員で心をひとつにし、感動いっぱい卒業式となりました。

卒業証書授与では、今年一年“コロナ禍”の中、様々な学校行事が縮小や中止せざるを得ない状況の中「どーせ無理」を「だったらこうしてみよう」と工夫しながら形を変え成し遂げてきた3年生に対して、校長が「よく頑張った。ありがとう！」と一人一人へ思いを込めて授与しました。(この様子は、当日の夜、YouTube配信されました。)

答辞では、柴田夏希空さん(元生徒会長)が、これまで自分たちを支えてくださった先生方や保護者、後輩たちへの感謝の気持ちと、共に卒業する友へ「コロナ禍の中で共に助け合いながら頑張ってきた経験を生かし、これからも様々なことに挑戦することを忘れないでほしい。」と伝えてくれました。

卒業記念合唱では、「旅立ちの日に」「遙か」を卒業生全員で中学生生活三年間を懐かしく振り返りながら歌いました。マスク越しでしたが、それでも体育館内に響き渡る熱唱に大感涙となりました。

本年度最後の「学校だより」は、卒業生への「はなむけ」の言葉を掲載します。

1 校訓「美しき魂」の精神を忘れることなく、これからも誠実に生きてほしい。

校訓の美しき魂の中にある「…人は時に醜き情わがき、人としてあるまじき行いをなすことある。この時、直ぐ潔きもとの姿に立ち返らなければならない。」と書いてあるとよう「誠実に素直に、そして潔く(いさぎよく)」生きなさい。それが「美しき魂」です。

2 「克己心」をもち、人との関わりをとおして「克己真心」へと成長してほしい。

他の人ではなく、自分の弱い心に打ち克つ強い心をもちなさい。もし、苦しみ悩むことがあったら、自分の中にいるもう一人の自分と相談しなさい。

辛く・苦しく道に倒れ嘆いていても、立ちあがろうと決めるのは、「自分」です。

そして、その自分を叱咤激励するのも「もう一人の自分です」これから先、数多くの失敗をするでしょう。それは決して無駄なことではありません。もし、辛く・苦しく逃げ出してしまっても、それはそれで経験となります。悔しい気持ちを忘れないでいれば、必ず、次に生かされます。それもまた人生！それを何度も繰り返すことで「克己真心」になるものです。<真…「真実」、真…「真心」です。>

3 この命を「ありがたい」と思い、「ありがとう」と伝える。

3月11日は、東日本大震災から10年目の追悼の日でした。昨日まで何事もなく元気に過ごしていた大切な家族が、そして友が、一瞬にして命を奪われました。どんなに悲しく辛いことだったでしょう。この悲しみは10年経った今もなお消えることはありません。「当たり前」だと思っていた毎日が今や「当たり前でない」世の中になってきています。「ありがたい」とは、「有り続けることが難しい」という意味です。

今生きていること、そして今日の前にある「命(自分の、家族の、友達の…)」を「ありがたい」と思うことが大切です。だからこそ自分を支えてくれている人々に心から「ありがたい」と思い「ありがとう」と伝えてください。

命は尊いもの。皆さんの親からつながった命は、これから先、皆さんの子供、そして孫へと永遠に継がれていきます。だからこそ、今日のこの日(卒業の日)は、**生まれてきたこと、育ててもらえたこと、出会ったこと、笑ったこと**、その**すべてに「ありがとうの日」**です。だから、これから先どんな苦しく・辛いことがあっても生き抜いてほしい。

どうか今日のこの日を忘れずに「歩ずつ着実に」歩んでください。

ここにある卒業生156名の命に感謝！

そして、これから先、予測困難な時代を生きる人生に幸多かれ！



転退職教職員紹介

今年度の鹿児島県教職員定期人事異動で、10人の先生方が転退職されます。異動先については生徒に配布した資料でご確認ください。

- ◆ 校長 中村 克己
- ◆ 教諭 徳永 涼子 【定年退職】
- ◆ 教諭 馬場 雅己
- ◆ 教諭 竹原 永剛
- ◆ 教諭 泊 憲一郎
- ◆ 教諭 永田 侑嗣
- ◆ 教諭 平田 忠敬
- ◆ 事務職員 西村 佐織
- ◆ 栄養教諭 西村 由美子 【定年退職】
- ◆ 支援員 江口 扶由子



鹿児島学習定着度調査結果より

1月13・14日に1・2年生を対象に実施された鹿児島学習定着度調査の結果が、先日、公表されました。

右の表は、本校の結果と県平均を比較したものです。ほとんどの教科で県平均を上回る結果でしたが、今回の特徴としては、10科目中4科目（1年理・英／2年国・社）で「思考・表現」が「基礎・基本」を上回る結果というものでした。このことは、これまでの授業改善や、課題への取組が成果として現れたものと考えます。また、「生徒質問紙」の結果から、家庭でインターネットを利用した遊び（ゲーム、SNS等）に費やしている時間が長時間に及んでいる生徒が多いことがわかりました。この課題については、保護者の皆様と今後連携を図りながら、家庭における望ましいネット利用のあり方について、検討を図りたいと考えています。

【第1学年】

	国語	社会	数学	理科	英語
伊集院中学校	83.7	72.4	78.2	68.8	77.4
鹿児島県	78.7	64.4	74.8	70.3	68.0
比較	+5.0	+8.0	+3.4	-1.7	+9.4

【第2学年】

	国語	社会	数学	理科	英語
伊集院中学校	79.9	77.5	72.7	70.7	59.2
鹿児島県	76.7	67.7	67.0	70.8	57.8
比較	+3.2	+9.8	+5.7	-0.1	+1.4

親学(道徳科)授業

特別の教科「道徳」に対して、本校では、学級担任だけでなく、副担任も交代で授業を実施するなどのローテーション授業を実施しています。その中で、本校の中村克己校長は年間を通して全クラス(14学級)で授業を実施することに取り組み、その最後に、保護者の皆さんと共に考える機会を持ちたいと、保護者を対象とした道徳授業を実施しました。

授業は、「いじめが起きる原因」や「他人を思いやることの大切さ」について考える内容でしたが、保護者の皆さんは、「もし、わが子がこんな立場で苦しんでいたら、親として・

・・・と、一人一人が自分事として真剣に考えているようでした。

ご多用の中、多くの保護者の皆様に、ご参加いただきました。心より感謝申し上げます。



4月の主な行事予定

4/6(火)	新任式、始業式 入学式(14:00~)
7(水)	学校生活・学習オリエンテーション② 標準学力検査(1~3年)③④ 生徒会対面式・部活動紹介⑤⑥
8(木)	いじめ問題を考える週間(~13日) 標準学力検査(1年)②③ 標準学力検査(2~3年)②③④ 交通安全教室⑥ クラス写真撮影
9(金)	身体計測(1年)③④、(3年)①② 知能検査(1年)① 進路適性検査(2年)① 総合オリエンテーション(学年別②~④) 学級PTA14:20~
10(土)	身体計測(2年)①②
12(月)	避難訓練⑤、生徒会実践活動
13(火)	心臓検診(13:30~)
14(水)	教育相談会(15,16,19,20,21,22日)
20(火)	検尿1次(~21日)
23(金)	Q/U検査⑥
26(月)	年度当初学校訪問
27(火)	眼科検診(2年, 3年1~3組)